

# 高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

し てい ぶん か ざい けん そう ぶつ  
指定文化財(建造物)



ば しょ  
場所

あさくち し こん こうちよう おお たに  
・浅口市金光町大谷



じ だい  
時代

たい しょう じ だい  
・大正時代



し てい ねん がっ び  
指定年月日

・平成18(2006)年  
3月27日



しょ ゆう  
所有

こ じん  
・個人



けん がく  
見学

けん がく か  
見学可

さだかねけじゅうたくしゅおく

## 定金家住宅主屋

新高総早倉矢井  
見梁社島敷掛原  
市市市町市町市

浅  
口  
市

里笠  
庄岡  
町市



## この建造物について

あさくち し こん こうちよう おお たに ち く  
浅口市金光町大谷地区は、金光教の門前町として発展し、数多くの近代建築物を見ることが  
できます。さだかね け じゅうたく  
定金家住宅は、大正6(1911)年に歯医者兼住宅として建てられました。

建物東側を正面とした木造2階建ての洋館です。屋根は、切妻で棧瓦葺きです。正面中央の玄  
かん かん かん  
関を中心に左右対称になっており、玄関のある中央部と左右の旧歯科待合室、居間部分から構  
成されています。

外観は、柱や梁形を装飾的にみせるスティックスタイルであり、柱と壁部分が塗り分けられ  
ています。2階屋根正面は、アーチを掛け、両脇に小尖塔を立てて正面を強く表現しています。  
二階の窓上部は櫛形ペディメント、玄関の底は三角ペディメントを付けています。

とう ぶん か ざい せん れん けい しょう  
当文化財は、洗練された西洋建築様式をよく継承しながら、一部に大正期的な意匠を取り入  
れた、美しい外観をもった貴重な建築物です。